



佐伯市（さいきし）について

佐伯市は宮崎県延岡市に接する大分県の南東部に位置し、903km²と九州一広い面積を誇ります。

かつて佐伯藩2万石の城下町として栄えたこの地には、歴史薫る町並みが今も残っています。

地勢は、九州山地から広がる山間部、一級河川の番匠川(ばんじょうがわ)下流に広がる平野部、リアス海岸の続く海岸部に大きく分けられます。山間部は「祖母傾国定公園」に、海岸部は「日豊海岸国定公園」に指定され、美しく変化に富んだ自然が広がっています。平成29年6月には、「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク」として、佐伯市宇目地域が登録されました。

本市は、将来にわたり持続可能なまちを創るため、「経済・社会・環境」の3つの側面に配慮した取組（佐伯版SDGs）を推進しており、さいきオーガニックシティ「人と自然が共生する持続可能なまち（循環型共生社会）」の実現を目指しています。

本市では、現在7人の地域おこし協力隊が有機農業の実践や地域の活力向上の推進、漫画を活用した地域情報などの発信、陶芸館を活用したアート体験、空き家バンクの登録促進、空き店舗活用推進などに取組んでいます。また、19人のOB・OGが任期満了後も本市に定住し、農業や漁業、ゲストハウスの経営などに取り組んでいます。



宇目地域の大自然の中での
「キャニオニング」



佐伯市民のソウルフードの
「ごまだしうどん」



子どもたちや撮り鉄の聖地となっている宇目地域の秘境駅「JR重岡駅」や「JR宗太郎駅」

【令和7年度地域おこし協力隊活動展示報告会】

佐伯市地域おこし協力隊は、1年間通して活動してきた成果を報告する場として、当該活動報告展示会を開催しています。

この活動報告展示会は、3月下旬の土曜日・日曜日に佐伯市の一大イベントである「さいき桜まつり」に合わせ2日間開催し、約600人の来場者で大いに盛り上がりました。

内容は、各隊員の活動をポスター展示やケーブルテレビ佐伯で放送された動画放映に加え、絵付けワークショップ、トロバコ作りワークショップの開催など来場者を楽しませる内容で実施しました。



【歴史ある街並み】

も魅力の一つであり、江戸時代に佐伯藩の初代藩主である毛利高政公が築城した佐伯城（別名：鶴谷城）の跡地である城山が現代では、市民の憩いの場となっています。

城下には、明治の文豪である国木田独歩が教師として、約10か月滞在した坂本永年邸が「城下町佐伯国木田独歩館」として整備され、現在でも観光客に人気のスポットとなっています。

平成29年度～令和元年度にかけて、アニメ「文豪ストレイドッグス」とコラボした企画展示やスタンプラリーが開催され、市外・県外から女性を中心とした多くの作品のファンが来佐され佐伯で歴史を感じるひとときを過ごされました。



城山頂上の佐伯城天守閣跡地



城下町佐伯国木田独歩館

さらには、令和2年10月31日にホールを有する多機能な複合施設として、さいき城山桜ホールがオープンし、「市民の想いをかたちに」するため市民参加の組織による市民主導の企画提案などが行われています。

【佐伯市の情報】

移住者向けポータルサイト
「さいき暮らしな日」

佐伯市公式HP

佐伯市観光ナビ

